

**お茶の水女子大学**(学部入学定員:452(30)人) ( )内は第3学年次編入学で外教

## 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

(目的)本学学生の語学力、コミュニケーション能力、異文化理解力の強化を図り、さらに(1)研修留学機会を拡大しグローバルに活躍できる人材を育成するとともに優れた留学生を受け入れて教育の国際化を促進し(2)短期研修プログラムによる学生の海外派遣と留学生の受け入れを推進し(3)海外の交流協定校と教職員の相互研修システムを構築し国際的能力を強化する

(人材像)グローバル人材の三要素(グローバル人材育成推進会議審議まとめH24.6.4)に加え、さらに一步推し進めて(1)英語・第三言語習得による多言語能力(2)多文化化と文化リテラシー(3)グローバル時代に求められる社会性(4)グローバル時代に求められるIT技術をもつ人材

【構想の概要】本学が培ってきたグローバル女性リーダー育成の実績の上に、1. 外国語力強化 2. 留学推進 3. グローバル力強化 4. 大学間連携を強力に推し進めて、事業期間内に外国語スタンダードを満たす学生数および単位取得を伴う海外留学経験者数を倍増させて本学のグローバル人材育成を加速するとともに、他大学のグローバル化を牽引する

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

学生が実際の学修計画の策定をウェブ上でインタラクティブにおこなう学修支援システムの構築。学修ポートフォリオとファンクショナルGPAによる成果分析(アクティブ・ラーニングを促進する双方向ツール)

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

1. ホームページ情報の体系化
2. 外国語(英語等)による発信強化
3. 「教育情報公表」の「国際化関連」拡充
4. 複数プログラム選択履修制度、カラーコード・ベンチマークシステム、GPA制度に関する情報提供
5. IR(Institutional Research)機能拡充

### ○ 事務体制のグローバル化

1. 専門職員の配置と職員の能力向上
2. 外国語自習システムの職員への開放
3. 国際シンポジウム、講演会への参加
4. グローバル化のインセンティブ
5. 各種文書及びホームページ多言語化
6. 新規職員採用の英語力重視



## ■ グローバル人材として求められる能力の育成

女子大学としての特徴を生かした「多文化化と文化リテラシー」「グローバル時代に求められる社会性」の育成に関わる取組を通して海外留学経験者を増やし、「産学連携の充実・強化」等を通してグローバルキャリア形成の機会を提供する

1. **情報・資源の提供** (1)国際会議、ワークショップ、インターンシップ、HP、講演、講義、Co-curricularプログラム、理系・文系留学担当教員配置、研究助成情報提供、グローバルキャリアカウンセリング、グローバル人材育成推進センター構築 (2)英語や他言語の蔵書・ジャーナルの充実
2. **教育課程の拡充** (1)「グローバル人材育成カリキュラム」作成 (2)英語による授業増 (3)一部英語による専門教育導入 (4)海外演習とインターンシッププログラム構築 (5)短期語学研修での職業体験拡大 (6)協定校で日本語教育研修 (7)国際学生フォーラム (8)留学生入学時期弾力化
3. **ネットワークの拡大** (1)海外の女子大学との交換留学プログラム協定増 (2)Global Research Exchange @ Ochanomizu University(GREAT-Ocha)セミナー開催
4. **産学連携の充実・強化** (1)産業界からの招聘講師セミナー開催 (2)産業界との共同研究促進 (3)研究機関でのインターンシップ拡充
5. **国際協力の充実** フィールド調査とインターンシップの機会増

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

1. 「調査書」に英検・TOEIC・TOEFL等のスコア記載を求め、補助的な選抜材料とする
2. 英語の配点を検討
3. 推薦入試、AO入試での英語力重視
4. <留学経験・在外経験の適切な評価>留学先の成績証明書や所見を重視

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

1. <プレイスメントテストと効果的な語学教育> (1)テストをTOEFL ITPに変更 (2)コア英語担当教員による組織的なFD実施
2. <4技能の定期的な評価とフィードバック> (1)2年次以上の学生にTOEFL ITP受験義務 (2)「総合英語」、「英会話」の科目再編成とクラス増 (3)「ACT(Advanced Communication Program)プログラム」導入 (4)プログラム参加学生にTOEFL iBTまたはIELTSの団体試験
3. <アカデミック・ライティング> (1)1年次英語、理学部・生活科学部2年次英語必修単位数引き上げ、ライティング選択必修科目新設 (2)「全学英語支援デスク」設置 (3)英作文自動評価添削システム導入
4. <論理的発信力に関わる少人数教育> (1)少人数演習科目を多数開講、English Camp強化 (2)スピーキング・ライティングクラスを、理学部・生活科学部向けにも設置 (3)会話自習用ソフトウェア等、自習教材導入
5. <留学前準備教育> (1)「TOEFL対策ゼミ」にIELTS対策追加 (2)研究計画、研究報告の英語プレゼンテーション、ディスカッション科目(学部・大学院共通)充実

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

1. 教員人事における国際公募推奨 英語力、国際経験重視
2. 教員の海外研修、英語によるゼミ、セミナー推奨
3. グローバル化のFD制度設計
4. 協定校とテレビ会議システムによる国際授業制度設計
5. 国際的な教育研究連携協定、単位互換やダブルディグリープログラム推進

### ○ グローバル教育力向上のための取組

1. 海外講師の授業開講、学内教員の授業参観、講演会やワークショップ
2. 外国語授業実施、英語によるサマープログラム実施
3. 海外派遣研修・調査費用支援
4. 学生参加国際セミナーやワークショップ開催
5. 英語による授業の拡充、短期日本語プログラム実施、海外招聘教員追加

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

1. 留学奨学金制度新設
2. 入学時から留学指導
3. 留学先単位互換の拡大、インターンシップ拡大、単位化、日本語教育教壇実習拡大
4. 留学相談業務スタッフ拡充、各種出版物、ホームページ充実
5. 協定校、派遣関係スタッフ増員

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

1. 留学中:安否確認報告システム整備、情報データベース作成、体験者との情報交流会、帰国後:オリエンテーション充実、文化再適応やキャリアプランニング支援
2. 帰国後の就職支援体制整備
3. リスク管理・危機管理対応指導、緊急事態対応体制整備

**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

- 英語・第三言語修得による多言語能力
  - 1)高度な英語力:TOEFL iBT 80点以上
  - 2)第三言語力:英語以外の第三言語圏への留学者数、及び第三言語能力試験の最下級レベル(例:韓国語能力試験1級)
- 多文化化と文化リテラシー、グローバル化時代に求められる社会性、IT技術  
 文化リテラシー:文化的多様性へのセンシティブな感性・態度、文化を読み解く能力、多文化共生の志向性など。  
 グローバル化時代に求められる社会性:異質な他者を含む社会集団の中で、他者を理解しつつ協働していく力であり、プレゼンテーション能力、ディスカッション能力、コミュニケーション能力。  
 ITリテラシー:コミュニケーションを円滑に遂行し、国境を越えた交流を促進するために不可欠なテクノロジーの利用能力。

**本構想において実現する達成目標**

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				60人	75人	95人	115人
うち海外留学未経験者数(A)				20人	20人	20人	20人
海外留学経験者数(B)		40人	45人	40人	55人	75人	95人
卒業〔予定〕者数(C)		514人	500人	500人	500人	500人	500人
比率((A+B)/C)				12.0%	15.0%	19.0%	23.0%
文教学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFLiBT80点以上		40人(16)	51人(18)	63人(18)	71人(18)
	海外留学経験者数	24人	25人	24人	33人	45人	53人
	3カ月未満	16人	16人	16人	22人	30人	36人
	3カ月～1年	8人	9人	8人	11人	15人	17人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業〔予定〕者数		237人	220人	220人	220人	220人	220人
理学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFLiBT80点以上		10人(2)	12人(1)	16人(1)	22人(1)
	海外留学経験者数	8人	10人	8人	11人	15人	21人
	3カ月未満	7人	9人	7人	9人	12人	17人
	3カ月～1年	1人	1人	1人	2人	3人	4人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業〔予定〕者数		137人	140人	140人	140人	140人	140人
生体科学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFLiBT80点以上		10人(2)	12人(1)	16人(1)	22人(1)
	海外留学経験者数	8人	10人	8人	11人	15人	21人
	3カ月未満	7人	8人	7人	9人	12人	17人
	3カ月～1年	1人	2人	1人	2人	3人	4人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業〔予定〕者数		140人	140人	140人	140人	140人	140人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。